



華となれ!

宮城県仙台二華中学校

学校だより 第1号

【発行日】 令和4年4月14日

【連絡先】 022-296-8101

【文責】 副校長 大泉 真澄

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となっしてほしいという願いを込めています。

「稽古は強かれ、諍識はなかれ」

令和4年度の始業식을4月7日（木）に放送で行いました。校長式辞を紹介します。

（式辞） 宮城県仙台二華中学校・高等学校長 佐藤 弘人

みなさん おはようございます。仙台でも桜の開花宣言が間近です。少し冬の名残りのある寒さを感じますが、学校の周辺でも春の花々が咲き始めています。皆さんはビルが建ち並ぶところを通学してきますが、是非身の回りの自然の変化・息づかいを感じながら生活する余裕を持ってほしいと思います。学校の樹木にも名前のプレートがつけられていて、樹木の名前を覚えることができそうです。さて、新しいクラスの仲間の様子はどうか？前後左右の仲間の顔をちょっと覗いてみてください。知っている仲間なら、その人の成長を感じることが出来ますか？新しい仲間なら、今日のお互いの姿が出发点です。原点になります。この後も仲間の成長の息づかいを感じて1年を過ごすことができたらと願います。

学校もまた成長しました。バカロレアの専用教室が完成し、新たな学びの姿が深まっていくことが期待されます。本校のスローガンどおり、「限らない未来への挑戦」は続いています。

始業式とこの後の入学式にあたって皆さんにお話ししたいことは、「稽古は強かれ、諍識（じょうしき）はなかれ」ということばについてです。これは、室町時代に能を大成させた世阿弥が「風姿花伝」で述べたものです。世阿弥は「初心忘るべからず」という格言を解釈し、現代にまで伝えていたり、「学ぶ」とは、ものをまねたり、写実したりする「まねぶ」にはじまると説いたりしています。世阿弥はその中で「稽古は強かれ、諍識はなかれ」と述べ、その最初の「稽古は強かれ」で、能の上達を目指すのであれば「稽古は厳しくやれ」これは分かるでしょう。そのままの意味です。「諍識はなかれ」の「諍識」これが読み解く鍵です。この「諍識」とは多くの人が知っているべき知識という「一般常識」ではありません。「諍」は「あらい」とか「いさかい」と読み、意味もそのままです。世阿弥はここでは、思い込みの知識や分かったつもりになっている理解のこととしています。そして人よりできると思う自慢げな心です。倫理の授業で学んだでしょうか、ベーコンの「イドラ」と近い意味でもあります。

一つの道を目指すとき、稽古も舞台も厳しい態度で取り組み、分かったつもりになるな、決して油断するなということです。こんな簡単なことならすぐにできる、などのような小手先の分かったつもり、できるつमりの油断はあってはならない！成長が止まると戒めているのです。

「稽古は強かれ、諍識はなかれ」と同じような心構えで世阿弥は「上手は下手の手本、下手は上手の手本なり」と道を究める上での心構えも残しています。分かったつもり、自分は努力しなくてもできるんだなどの放漫な心は成長の妨げです。私たちの部活動や学習の様子に当てはめてみましょう。上手いと言われる人は、もちろん未熟な人にとっての手本になるでしょう。その逆の未熟な人のやっていることを本当に上手な人は、軽くみたりするのではなく、その中の技に個性を感じたり、その人の長所や持ち味を受け取り自分の技に取り入れたりするものです。普通にこれ位はできると思っている人は、下手だと言われる人たちの下手な部分（欠点など）しか見えない、だからそれ以上の成長は見込めない、本当の上手つまり名人となる人は、うまくいっていない人からでも、何らかの長所を見つけ、それを自分に受け入れ学んでいるというのです。

二華にいる仲間は、すべて輝く個性や技を持っています。お互い学び合い本当の上手を目指しましょう！

これが校長からの新学期が始まる段階でのメッセージです。行き詰まり感のある日本、混迷する世界に挑戦していきましょう！

「第13回入学式 決意を新たに 二華中スタート」

入学生105名が新たに二華生の仲間に加わり、全校生徒314名と27名のスタッフを合わせ、総勢341名で、令和4年度の宮城県仙台二華中学校がスタートしました。

今年度も二華中は、生徒と教職員が心をひとつにして、「稽古は強かれ、諍識はなかれ」をキーワードに、皆様から愛される学校を目指し取組を進めてまいります。



入学生105名の素晴らしい返事が
体育館に響きました。

（入学生代表入学の言葉） 仙台二華中学校 入学生代表 T・Oさん

風も、日差しも、生き物も全てが輝き出す今日。暖かな春の訪れとともに、私たちはこの宮城県仙台二華中学校に入学しました。本日は、私たちのために、このような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。

仙台二華中学校には様々な小学校から集まった仲間たちがいます。新しい環境で、新しい仲間たちと送るこれからの学校生活が楽しみでたまりません。私が学校生活で特に楽しみなのは、↑入学の言葉を読み上げるT・Oさん文化祭です。文化祭は小学校にはなかったイベントなのでクラスメイトや先輩たちと協力して活動し、文化祭を盛り上げられる日がとても待ち遠しいです。

私は将来、環境に配慮した家を設計し、私たちの住んでいる地球を少しでもきれいにしたいと考えています。そのためには、環境問題という広い分野で物事を考えるための思考力や想像力が必要です。これから始まる6年間の学校生活で、様々な経験を重ね、思い描いた夢に一步ずつ近づいていけるよう、努力したいと思います。

これからはじまる学校生活へ向けて、私たち1年生は一丸となって、何事にも積極的に取り組むことができるように努めてまいります。先生方、先輩のみなさん、御指導よろしくお願ひいたします。

仙台二華中学校の生徒であることに誇りをもち、これからの6年間、何事に真剣に取り組むことで、自らを心身ともに成長させることを誓い、入学の言葉といたします。



↑ 入学の言葉を読み上げるT・Oさん

「生徒会入会式」 ～ 生徒会総務が入学生を歓迎！～

4月11日（月）に2部構成で生徒会入会式がありました。感染症対策を講じながら、1部は高校と合同で年間行事の紹介動画を視聴しました。2部は会場を変えて中学校生徒会総務が企画した学校生活紹介と部活動紹介の動画を視聴し、1年生は活動の様子をイメージすることができたようでした。その後、「みちのく交流プロジェクト」と称した縦割りの活動に取り組み、1年生のにこやかな表情も見られ、先輩・後輩の絆づくりのよいスタートを切ることができました。



↑ 書道部からのメッセージ